



# IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター ネットワーク環境設定ガイド

プリンターで紙幣を印刷したり、有価証券などを不正に印刷すると、その印刷物を使用するかどうかにかかわらず、法律に違反し罰せられます。

「XEROX」「The Document Company」「Ethernet(イーサネット)」は、登録商標です。  
「DocuWorks」「CentreWare」は、商標です。  
「Adobe」「Adobeロゴ」「PostScript」「PostScript 3」「PostScriptロゴ」は、  
Adobe Systems Incorporated(アドビ システムズ社)の登録商標または商標です。  
「Microsoft」「Windows」「Windows NT」は、米国マイクロソフト社の米国およびその他の国における  
登録商標です。  
「HP」「HP-GL」「HP-GL/2」「HP-UX」は、日本ヒューレット・パッカートの登録商標です。  
「NetWare」は、Novell, Inc.の登録商標です。  
「Macintosh」「漢字Talk」「MacOS」「AppleTalk」「EtherTalk」「TrueType」は、  
Apple Computer, Inc.の登録商標です。  
「Intel」「Pentium」はIntel Corporationの商標または登録商標です。  
「UNIX」は、X/OPEN Company Ltd.がライセンスしている米国ならびに他の国における登録商標です。  
「Solaris」「SunOS」「NIS(Network Information Services)」は、  
米国サンマイクロシステムズの商標または登録商標です。  
「平成明朝体W3」「平成角ゴシック体W5」は、財団法人日本規格協会フォント普及センターの商標です。  
その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。  
画面の使用に際して米国マイクロソフト社の許諾を得ています。

本プリンターのソフトウェアには、the Independent JPEG Groupで作成されたコードの一部を利用しています。

平成明朝体™W3、平成角ゴシック体™W5は、(財)日本規格協会と使用契約を締結し使用しているものです。

#### ご注意

本書の内容の一部または全部を無断で複製・転載・改編することはおやめください。  
本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。  
本書に、ご不明な点、誤り、記載もれ、乱丁、落丁などがありましたら弊社までご連絡ください。  
本書に記載されていない方法で機械を操作しないでください。思わぬ故障や事故の原因となることがあります。  
万一故障などが発生した場合は、責任を負いかねることがありますので、ご了承ください。  
本製品は、日本国内において使用することを目的に製造されています。諸外国では電源仕様などが異なるため使用できません。  
また、安全法規制(電波規制や材料規制など)は国によってそれぞれ異なります。本製品および、関連消耗品をこれらの規制に違反して諸外国へ持ち込むと、罰則が科せられることがあります。

[ IBM ]は、IBM Corporationの商標です。

# はじめに

このたびはIBM 5591 カラー・レーザー・プリンターをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

本書は、本製品をはじめてご使用になるかたを対象に、機械の操作方法、および使用上の注意事項について記載してあります。製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくために、製品をご使用になる前に、必ず本書をお読みください。

本書を読んだあとも必ず保管してください。機械をご使用中に、操作上でわからないことや機械に不具合を生じたときに読み直してご活用いただけます。

本書で使用しているイラストは、両面印刷機能付きの標準モデルにオプションの3トレイキャビネットを装着した場合を例に記載しています。

[お願い] 保証書は大切に保管してください。

2001年10月

日本アイ・ビー・エム株式会社

この取扱説明書のなかで △と表記されている事項は、安全にご利用いただくための注意事項です。必ず操作を行う前にお読みいただき、指示をお守りください。また、本書の「安全にご利用いただくために」をご一読ください。

この装置は、危険なレーザー光を出さない「クラス 1のレーザーシステム」です。取扱説明書に従って操作してください。取扱説明書に書かれた以外の操作は行なわないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。



国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 受信障害について

ラジオの雑音、テレビなどの画面に発生するチラツキ、ゆがみがこの商品による影響と思われましたら、この商品の電源スイッチを一旦切ってください。電源スイッチを切ることにより、ラジオやテレビなどが正常な状態に回復するようでしたら、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・ 本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・ 本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・ この商品とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・ 受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

本機器は社団法人日本事務機械工業会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン(家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠)に適合しています。

# 目次

はじめに	
目次	
マニュアル体系について	
本書の読み方	

## 第1章 プリンター環境の設定

---

1.1	使用できる環境について	2
1.2	プリンター本体を簡単にセットアップする	6
1.3	プリンター環境の設定の流れ	8
1.4	IPアドレスを設定する	9
1.4.1	設定の流れ	9
1.4.2	アドレスの設定	11
1.5	ポートを設定する	14
1.5.1	lpdポートを起動する	14
1.5.2	SNMPエージェントを起動する	15
1.6	メモリーの割り当てについて	17

## 第2章 プリンタードライバのインストール

---

2.1	概要	22
2.1.1	クライアント環境	22
2.1.2	ネットワーク環境	22
2.1.3	プリンタードライバのインストールについて	23
2.1.4	プリンタードライバのアンインストールについて	23
2.1.5	TCP/IPプロトコルを使用する前の確認	24
2.2	プリンタードライバをインストールする	25
2.2.1	ネットワーク上のプリンターヘダイレクトに印刷する場合	25
2.2.2	SMBを使用して印刷する場合	30
2.2.3	サーバーを経由して印刷する場合	34
2.2.4	ローカルプリンターへ印刷する場合	38
2.3	最新プリンタードライバの入手方法	43

## 第3章 Windows®ネットワーク(SMB)環境での設定

---

3.1	概要	46
3.1.1	システム構成について	46
3.1.2	設定の流れ	46

3.2	プリンター側の設定( NetBEUI )	48
3.2.1	ポートを起動する	48
3.2.2	プロトコルを設定する	49
3.2.3	その他の設定項目について	50
3.3	プリンター側の設定( TCP/IP )	51
3.3.1	IPアドレスを設定する	51
3.3.2	ポートを起動する	51
3.3.3	プロトコルを設定する	53
3.3.4	その他の設定項目について	54
3.4	SMBの設定の変更	55
3.4.1	Windows®ネットワーク経由の変更方法	55
3.5	プリンタードライバーの自動ダウンロード	60
3.5.1	自動ダウンロードの準備	60
3.5.2	プリンタードライバーを自動ダウンロードする	62

#### 第4章 共有プリンターの設定について

---

4.1	プリンターを共有に設定する	68
4.2	プリンタネームサービスをインストールする	70

#### 第5章 NetWare®環境での設定

---

5.1	概要	78
5.1.1	システム構成について	78
5.1.2	コンピューター環境	78
5.1.3	インターフェイス	79
5.1.4	設定の流れ	80
5.2	管理者用の設定ツールを使用してプリンターを設定する	81
5.2.1	バインダリ接続の場合	81
5.2.2	NDS接続の場合	86
5.2.3	その他の設定項目について	90

#### 第6章 UNIX環境での設定/印刷

---

6.1	概要	94
6.1.1	システム構成について	94
6.1.2	対象クライアント	94
6.1.3	インターフェイス	94
6.2	プリンター側の設定	95
6.2.1	設定の流れ	95

6.3	ワークステーション側の設定	96
6.3.1	設定を始める前に	96
6.3.2	プリント言語/モード/出力形態について	96
6.3.3	ワークステーション設定例( SunOSの場合 )	100
6.3.4	ワークステーション設定例( Solarisの場合 )	101
6.3.5	ワークステーション設定例( HP-UXの場合 )	102
6.4	印刷操作	103
6.4.1	印刷する( SunOSの場合 )	103
6.4.2	印刷を取り消す( SunOSの場合 )	104
6.4.3	印刷する( HP-UX、Solarisの場合 )	106
6.4.4	印刷を取り消す( HP-UX、Solarisの場合 )	107
6.5	lprコマンドの-Cオプションについて	109
6.5.1	パラメーターについて	109
6.6	プリンタステータスの確認	112
6.6.1	プリンタステータスを確認する( SunOSの場合 )	112
6.6.2	プリンタステータスを確認する( HP-UX、Solarisの場合 )	113

## 第7章 インターネット印刷の設定

---

7.1	インターネット印刷を利用する	116
7.1.1	システム構成について	116
7.1.2	設定の流れ	117
7.2	プリンター側の設定	118
7.2.1	IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定	118
7.2.2	ポートを起動する	118
7.2.3	その他の設定項目について	120
7.3	印刷先の設定とプリンタドライバのインストール	121

## 第8章 注意と制限

---

8.1	NetWare®の注意と制限	130
8.1.1	設定について	130
8.1.2	印刷するとき	132
8.1.3	印刷制御について	132
8.2	SMBの注意と制限	133
8.2.1	設定について	133
8.2.2	電源を切るとき	134
8.2.3	印刷するとき	134

8.3	UNIXの注意と制限	136
8.3.1	環境設定について	136
8.3.2	電源を切るとき	137
8.3.3	印刷操作について	137
8.4	TCP/IP(LPD)の注意と制限	139
8.4.1	設定について	139
8.4.2	電源を切るとき	140
8.4.3	印刷するとき	140

## 第9章      トラブルと思ったら

---

9.1	NetWare®環境でのトラブル	144
9.1.1	印刷されないとき	144
9.1.2	【電源を一度切ってください】と表示されているとき	148
9.1.3	希望の印字結果が得られないとき	148
9.1.4	障害発生メッセージが通知されないとき	149
9.2	SMB環境でのトラブル	150
9.2.1	プリンターが見つからないとき	150
9.2.2	希望の印字結果が得られないとき	151
9.2.3	プリンターのウィンドウからドキュメントを削除できないとき	151
9.2.4	プリンタードライバを自動ダウンロードできないとき	152
9.3	UNIX環境でのトラブル	153
9.3.1	印刷されないとき	153
9.3.2	希望の印字結果が得られないとき	154
索引		155

マニュアルコメント用紙

# マニュアル体系について

ここでは、本製品に同梱されているマニュアルの種類と、その概要を説明します。

## マニュアルの種類

この製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

### 設置ガイド

プリンター本体の設置、オプション製品の取り付けについて説明しています。プリンターを設置するときにお読みください。

### 取扱説明書

設置時のプリンターの設定やプリンタードライバーのインストール、電源の入切、印刷の中止などの基本的な操作、用紙のセット方法、プリンターの各種設定項目、トラブル時の対応、消耗品の交換など、日常プリンターを利用するときに必要なことについて説明しています。

このマニュアルは、本体に同梱されている「マニュアルCD」のCD-ROMに電子マニュアルとして入っています。

### ネットワーク環境設定ガイド <本書>

ネットワークの環境設定方法について説明しています。このマニュアルは、本体に同梱されている「マニュアルCD」のCD-ROMに電子マニュアルとして入っています。

## オプションマニュアルの種類

オプション製品に関して、次の種類のマニュアルを用意しています。

### PostScript®ソフトウェアキット取扱説明書

PostScript®ソフトウェアキットのROMの設置、PostScript® Driver Libraryに入っているソフトウェアの説明やインストール方法、および使用方法を説明しています。

### ART /エミュレーションキット取扱説明書

ART /エミュレーションキットのROMの設置、「ART 」、または「ESC/P」HPGL/2」の各エミュレーションモードの設定方法、使用できるフォントなどについて説明しています。

#### 補足

PostScript®ソフトウェアキットとART /エミュレーションキットは、同時に使用できません。



# 本書の読み方

ここでは、本書の読み方について説明します。

本書は、日常本機を使用するかたを対象に制作しています。本書を読む場合には、必要なときに必要な章をお読みください。

このプリンター、ドライバーおよびユーティリティーは富士ゼロックス株式会社より提供を受けております。

なお、本文中に記載されています「DocuPrint C2220」や「DocuPrint C2221」は「IBM 5591 カラー・レーザー・プリンター」と読み替えてください。

また、「CentreWare ドライバー & ネットワークユーティリティーのCD-ROM (CentreWareのCD-ROM)」は、「サポートCD」と読み替えてください。

## 前提知識

本書の内容は、お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法を理解されていることを前提に説明しています。

お使いのパーソナルコンピューターの環境や、ネットワーク環境の基本的な知識や操作方法については、パーソナルコンピューター、オペレーティングシステム、ネットワークシステムに付属の説明書をお読みください。

## 本書の構成

本書は、次の構成になっています。

### 第1章 プリンター環境の設定

ローカルプリンター、またはネットワークプリンターとして使用する場合の接続例と、本機を使用できるようにするための設定方法について説明しています。

### 第2章 プリンタードライバーのインストール

プリンタードライバーのインストールについて説明しています。

### 第3章 Windows® ネットワーク (SMB) 環境での設定

Windows® ネットワーク (SMB) を使用して、印刷する場合の設置手順について説明しています。

### 第4章 共有プリンターの設定について

Windows NT® 4.0 または Windows® 2000 に共有プリンターを設置して、他の Windows® クライアントから印刷する場合の手順について説明しています。

### 第5章 NetWare® 環境での設定

NetWare® 環境を使用して、印刷する場合の設置手順について説明しています。

### 第6章 UNIX 環境での設定/印刷

UNIX 環境を使用して、印刷する場合の設置手順および印刷コマンドについて説明しています。

## 第7章 インターネット印刷の設定

IPP(Internet Printing Protocol)を使用して、印刷する場合の設置手順について説明しています。

## 第8章 注意と制限

各ネットワーク環境ごとに、使用するときの注意事項や制限事項を説明しています。

## 第9章 トラブルと思ったら

各ネットワーク環境ごとに、トラブルが発生した場合の対処方法を説明しています。

## 本書の表記

---

本文中の「クライアント」は、パーソナルコンピュータやワークステーションの総称です。

本文中では、説明する内容によって、次のマークを使用しています。

- 注記** 注意すべき事項を記述しています。必ずお読みください。
- 補足** 補足事項を記述しています。
- 参照** 参照先を記述しています。

本文中では、次の記号を使用しています。

- 参照** 「 」：参照先は、本書内です。
- 参照** 『 』：参照先は、本書内ではなく、ほかの説明書です。
- 「 」：フォルダー、ファイル、アプリケーション、CD-ROMなどの名称を表します。
- [ ]：クライアント上のメニュー、コマンド、ウィンドウやダイアログボックスとそれらに表示されるボタンやメニューなどの名称を表します。
- キー：キーボード上のキーを表しています。
- 【 】：操作パネルのディスプレイに表示されるメッセージ、メニューの選択肢や設定値を表します。

チェックボックスがチェックされている状態をオン、チェックされていない状態をオフで表します。

ラジオボタンがチェックされている項目が、選択されている項目です。

# プリンター環境の設定

# 1章

1.1	使用できる環境について .....	2
1.2	プリンター本体を簡単にセットアップする .....	6
1.3	プリンター環境の設定の流れ .....	8
1.4	IPアドレスを設定する .....	9
	1.4.1 設定の流れ .....	9
	1.4.2 アドレスの設定 .....	11
1.5	ポートを設定する .....	14
	1.5.1 lpdポートを起動する .....	14
	1.5.2 SNMPエージェントを起動する .....	15
1.6	メモリーの割り当てについて .....	17

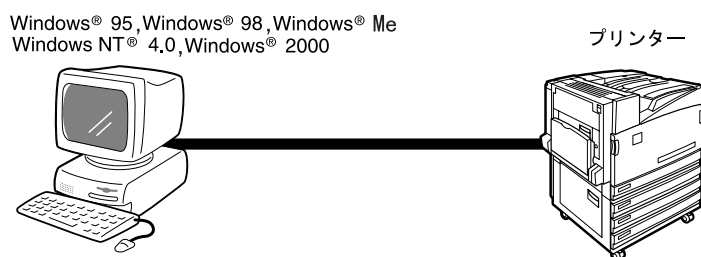
# 1.1 使用できる環境について

本機を使用できる環境について説明します。

本機をネットワークに接続すると、ネットワークプリンターとして使用できます。また、本機はマルチプロトコルに対応しています。そのため、異なったネットワーク環境でも、1台のプリンターを共有できます。

## ●●● ローカル

本機とコンピューターを、パラレルインターフェイスケーブルで接続して印刷します。



### 注記

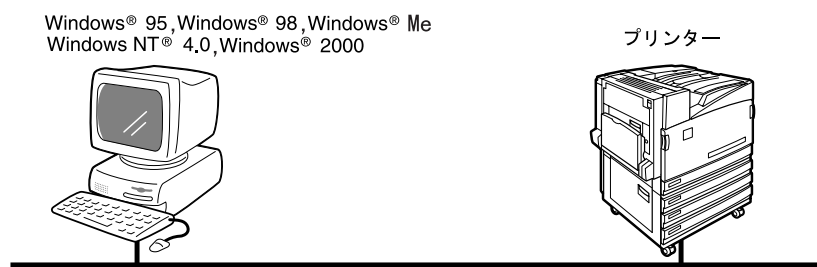
パラレルインターフェイスケーブルは、弊社別売りのものをご使用下さい。弊社取り扱い以外のパラレルインターフェイスケーブルを使用すると、電波障害を起こすことがあります。

## ●●● Windows®ネットワーク(SMB)

SMB (Server Message Block)とは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上でファイルやプリンターを共有するためのプロトコルです。SMBを使用すると同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せず、印刷データや設定を直接送信できます。本機のSMBポートを起動し、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Me、Windows NT® 4.0、Windows® 2000の各OSで、ネットワーク上のプリンターを登録するだけで印刷できます。SMBのトランスポートプロトコルは、NetBEUIとTCP/IPが使用できます。

### 参照

「第3章 Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定」(P.45)を参照してください。



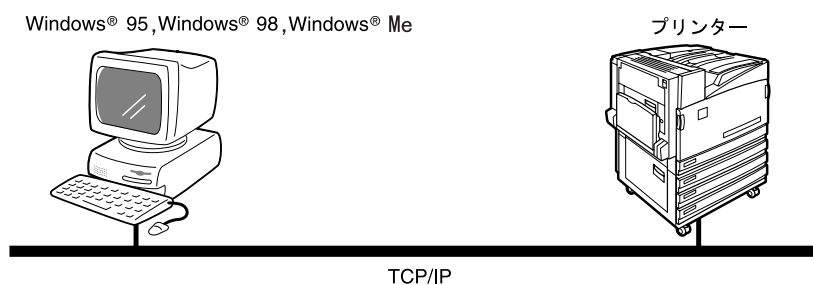
NetBEUIまたはTCP/IP

### ●●● TCP/IP Direct Print Utility

TCP/IP Direct Print Utilityとは、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、同一ネットワーク(Ethernetインターフェイス)上のプリンターに、サーバーなどを経由せずに印刷データを直接送信し、印刷することを可能にした弊社製ソフトウェアツールです。本機はTCP/IP(lpd)をサポートしているので、このツールを使用すると、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントから、印刷データを直接送信して印刷できます。この場合、本機とWindows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

#### 参照

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5 ポートを設定する」(P.14)、「2.2.1 ネットワーク上のプリンターへダイレクトに印刷する場合」(P.25)を参照してください。



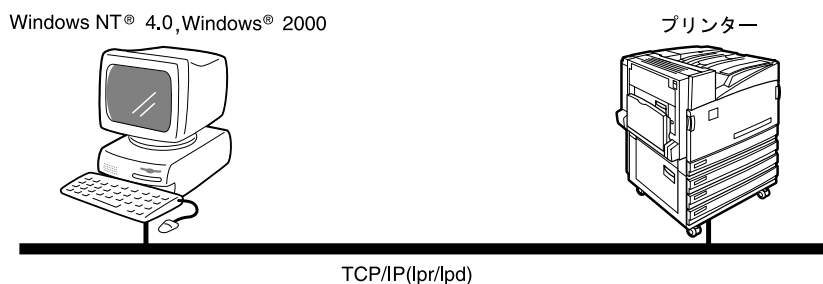
### ●●● TCP/IP(lpd)

本機は、TCP/IP(lpd)をサポートしているので、Windows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントから、SMBだけでなくlprで印刷データを直接送信し、印刷できます。この場合は、本機とWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

また、Windows NT® 4.0、Windows® 2000上に登録したプリンターを共有に設定することで、Windows® 95、Windows® 98、Windows® Meクライアントからも、この共有プリンターに接続して印刷できます。

#### 参照

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「1.5 ポートを設定する」(P.14)、「2.2.3 サーバーを經由して印刷する場合」(P.34)を参照してください。



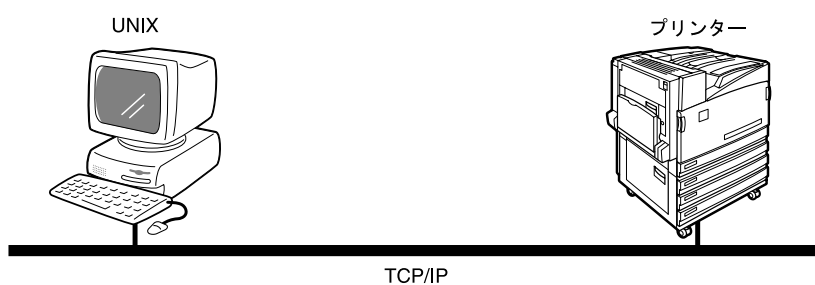
## 1.1 使用できる環境について

### ●●● TCP/IP(UNIX)

本機は、TCP/IPプロトコルをサポートしているため、UNIXクライアントから印刷できます。本機とUNIXクライアントには、IPアドレスの設定が必要です。

**参照**

「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)、「第6章 UNIX環境での設定/印刷」(P.93)を参照してください。

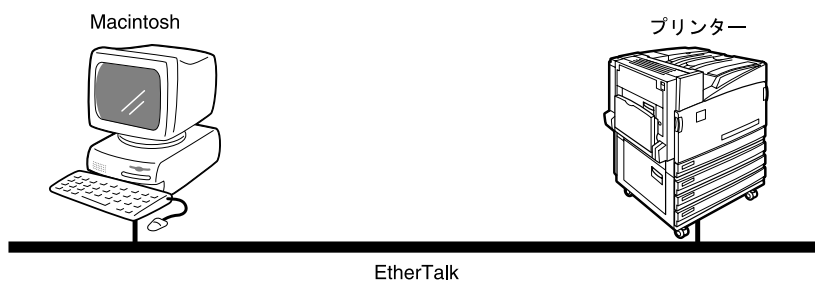


### ●●● AppleTalk

本機は、AppleTalkプロトコルをサポートしているため、Macintoshから印刷できます。

**補足**

Macintoshから印刷するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。

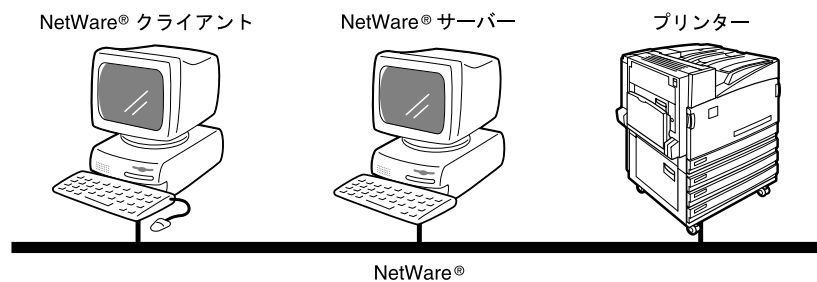


### ●●● NetWare®

本機は、ネットワークOSとしてNetWare®を使用している環境で使用できます。NetWare®のプロトコルは、IPX/SPXとTCP/IPが使用できます。

#### 参照

「第5章 NetWare®環境での設定」(P.77)を参照してください。

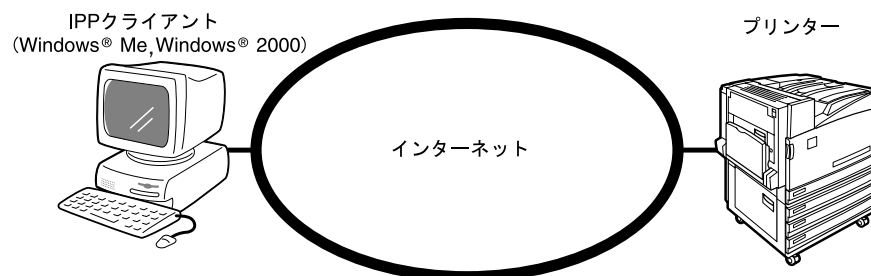


### ●●● インターネット印刷

本機は、IPP(Internet Printing Protocol)をサポートしています。Windows® 2000は、IPP対応プリンターに出力するためのクライアントソフト(IPPポートモト)を装備しているので、コントロールパネルの[プリンタの追加]ウィザードから、IPP対応プリンターを指定できます。また、IPPが利用できるWindows® Meでもインターネット印刷ができます。IPPを利用すれば、インターネット、またはイントラネットを経由して遠隔地のDocuPrint C2220へ印刷できます。

#### 参照

IPPを利用する場合は、「第7章 インターネット印刷の設定」(P.115)を参照してください。



# 1.2 プリンター本体を簡単にセットアップする

プリンター環境の設定をする場合、プリンター本体のクイックセットアップメニューを使用すると、必要最低限の項目が一度に設定できます。

クイックセットアップメニューでは、以下の設定ができます。

- ジョブ履歴レポートを自動で印刷するかどうかの設定  
処理を行ったプリントジョブに関する情報(ジョブ履歴レポート)を、自動的に印刷するかどうかを設定します。ジョブ履歴レポートには、最新の50件までの印刷ジョブが印刷されます。このジョブ履歴レポートを、印刷ジョブが50件超えるごとに自動的に印刷させるかどうかを設定します。
- システム時計の設定  
本機のシステム時計の日付(年/月/日)と時刻(時/分)を、西暦(4桁、2000～2099年の範囲)・24時間表示で設定します。ここで設定された日付/時刻がリストやレポートに印刷されます。(日付：YYYY/MM/DD、時刻：HH/MMの形式で入力します。)
- ネットワークのポート、プロトコルおよびスプールの設定  
(SMB、Ipd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)、SNMP)  
SMB、Ipd、IPP、NetWare、EtherTalk(オプション)は、ネットワーク環境に合わせて、使用するポート、プロトコル、スプールの設定をします。SNMPは、CentreWareなどの複数台のプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使う場合に設定します。
- インターネットサービスを使用するかどうかの設定  
インターネットサービス(CentreWare Internet Services)を使用すると、Webブラウザを介して本機の状態やジョブの状態を表示したり、本機の設定を変更したりできます。
- DHCP、BOOTPを使用するかどうかの設定、およびIPアドレスの設定  
(TCP/IPを使用する場合だけ設定します)  
TCP/IPを使うために必要な情報(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)をDHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー、またはBOOTPから自動的に取得するかどうかを設定します。DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバー、またはBOOTPを使用しない場合は、IPアドレスを手動で入力します。

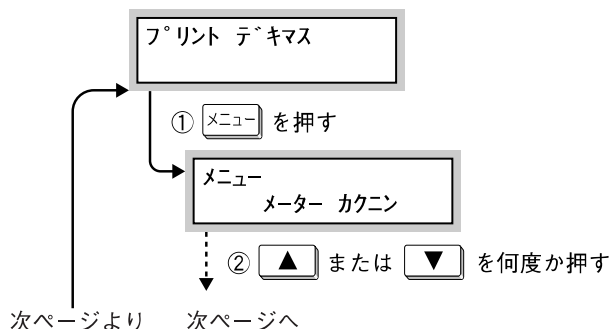
クイックセットアップメニューを使用すると、一連の流れに従って複数のポートを一度に設定することができます。

## 補足

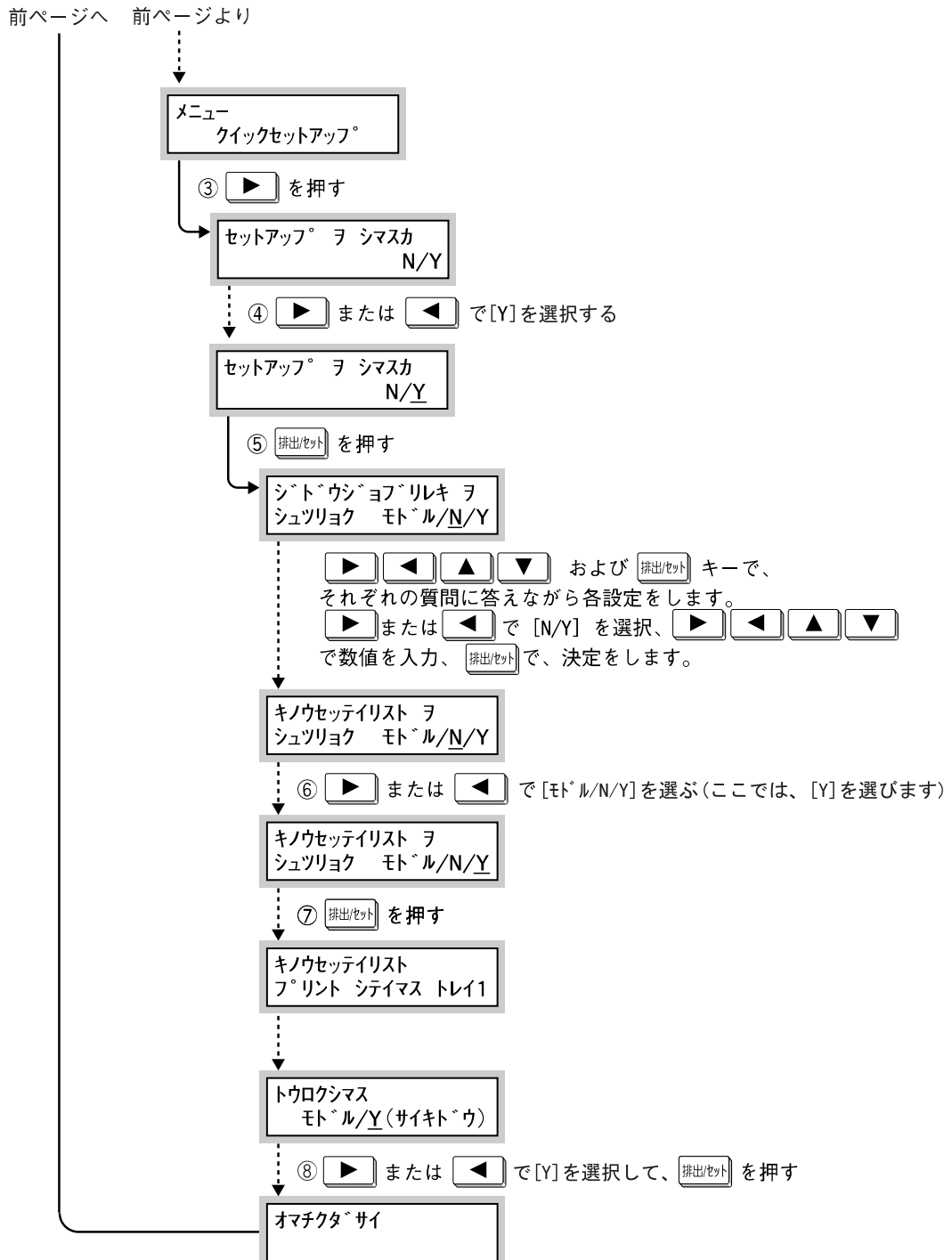
クイックセットアップで設定できない項目や個別に設定する方法については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「8.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。

## 操作手順

操作パネルで、以下の手順に従って、必要な設定をします。







(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

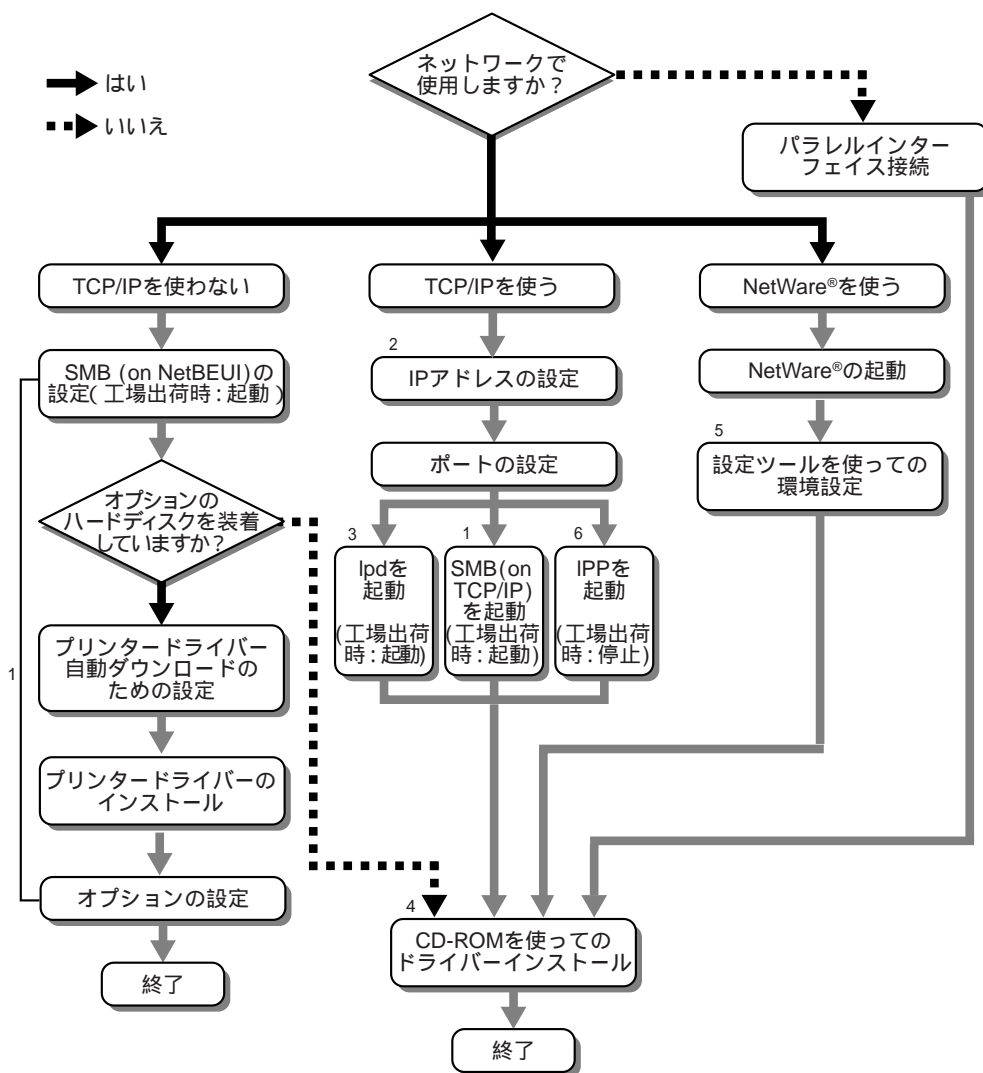
**補足**

セットアップ中に **メニュー** を押した場合は、設定内容は無効となります。

# 1.3 プリンター環境の設定の流れ

プリンターの環境を設定する流れについて説明します。

フローチャートに沿って、それぞれのプリンター環境に必要な設定を確認してください。時刻やネットワーク、IPアドレスなどの設定を簡単にセットアップすることもできます。詳細は、「1.2 プリンター本体を簡単にセットアップする」(P.6)を参照してください。



- 1 「第3章 Windows® ネットワーク(SMB)環境での設定」(P.45)を参照してください。
- 2 「1.4 IPアドレスを設定する」(P.9)を参照してください。
- 3 「1.5 ポートを設定する」(P.14)を参照してください。
- 4 「第2章 プリンタードライバーのインストール」(P.21)を参照してください。
- 5 「第5章 NetWare® 環境での設定」(P.77)を参照してください。
- 6 「第7章 インターネット印刷の設定」(P.115)を参照してください。

# 1.4 IPアドレスを設定する

ここでは、IPアドレスの設定方法について説明します。  
 ネットワーク環境によっては、サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定が必要な場合があります。ネットワーク上に、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)を起動しているWindows NT® 4.0、Windows® 2000クライアントがある場合、本機はこれらのアドレス情報をDHCPサーバーから取得できます。  
 工場出荷時の設定では、これらのアドレスをDHCPサーバーから自動的に取得するようになっています。

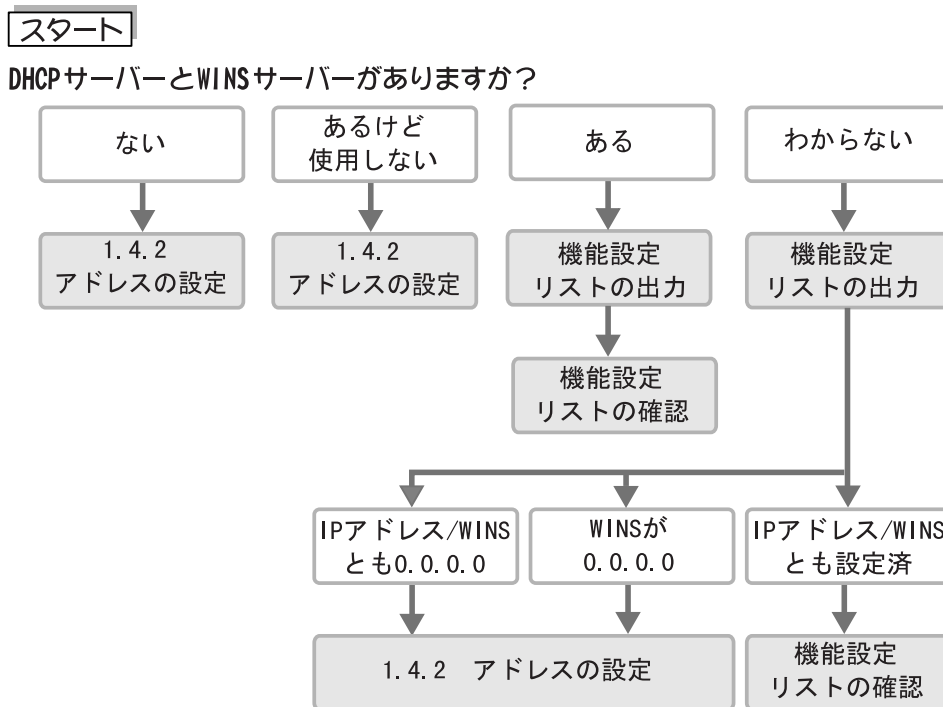
**注記**

DHCPサーバーを使用する場合、同時にWINS(Windows Internet Name Service)サーバーも使用してください。

## 1.4.1 設定の流れ

DHCPサーバーがあるかどうか分からないときは、ここで説明する操作手順に従って、DHCPサーバーの有無を確認します。DHCPサーバーがあった場合は、IPアドレスは自動的に設定されるので、IPアドレスの入力は不要です。なかった場合は、「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、IPアドレスを設定してください。

### ●●● DHCPサーバーの確認



**補足**

DHCP環境について不明な場合は、システム管理者にお尋ねください。

### … 設定リストの出力

#### 操作手順

- ① 『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照して、「機能設定リスト」を印刷します。
- ② 「機能設定リスト」の「コミュニケーション設定」項目の、「TCP/IP：IPアドレス」、「TCP/IP：サブネットマスク」、「TCP/IP：ゲートウェイアドレス」、「WINS：プライマリーWINSサーバー」、「WINS：セカンダリーWINSサーバー」のアドレスを確認します。「機能設定リスト」の確認方法については、次の「設定リストの確認」を参照してください。

### … 設定リストの確認

#### TCP/IP、WINS共にアドレスが取得されていない場合

DHCPサーバーとWINSサーバーは存在しません。「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、IPアドレスを設定してください。



#### TCP/IPにアドレスは取得されているが、WINSにアドレスが取得されていない場合

WINSサーバーは存在しません。本機に割り当てられているIPアドレスが変更になった場合に印刷できなくなる可能性があるため、DHCP環境を使用しないでください。「1.4.2 アドレスの設定」(P.11)を参照し、手動で本機のIPアドレスを設定してください。

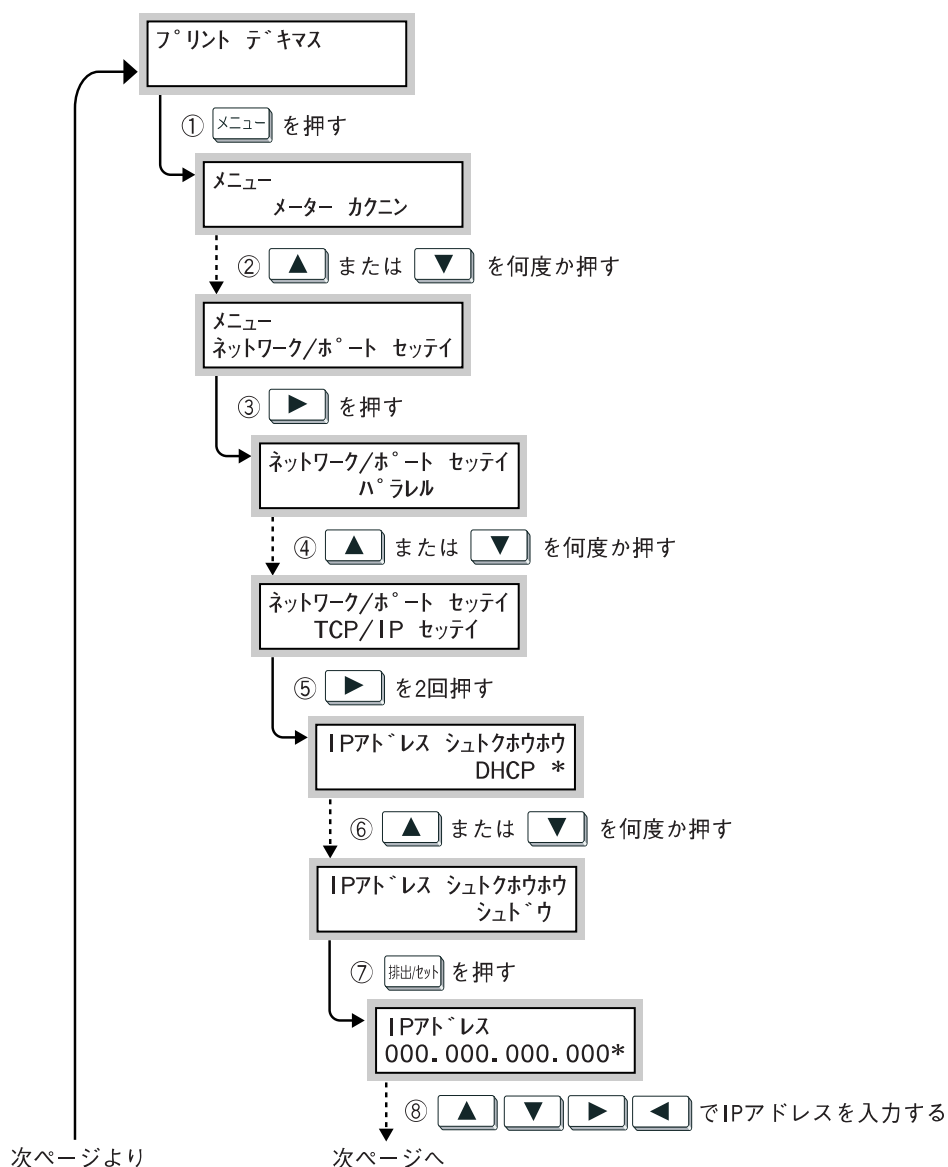
#### TCP/IP、WINS共にアドレスが取得されている場合

DHCPサーバーとWINSサーバーが稼働しています。DHCP環境を使用することをお勧めします。本機のIPアドレスはDHCPサーバーが設定します。WINSサーバーには、「機能設定リスト」の「SMB」項目の「ホスト名」に記載された名前(FX-xxxxxx)が登録されます。

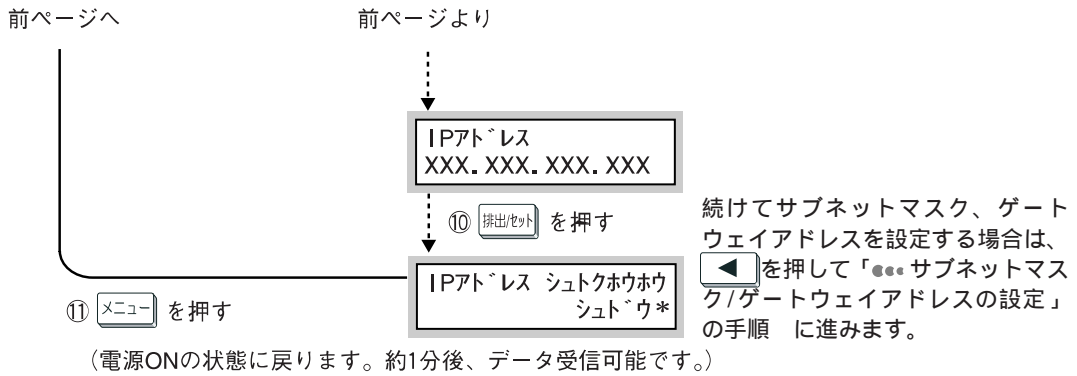
## 1.4.2 アドレスの設定

ここでは、操作パネルでIPアドレスを設定する手順について説明します。使用するネットワーク環境によって、サブネットマスクやゲートウェイアドレスの設定が必要です。ネットワーク管理者にご相談のうえ、必要な項目を設定してください。なお、IPアドレスの設定の初期表示が違う場合があります。最初に、【IPアドレスノシュトクニシツパイシマシタ】と表示された場合は、を押して、から操作を始めてください。

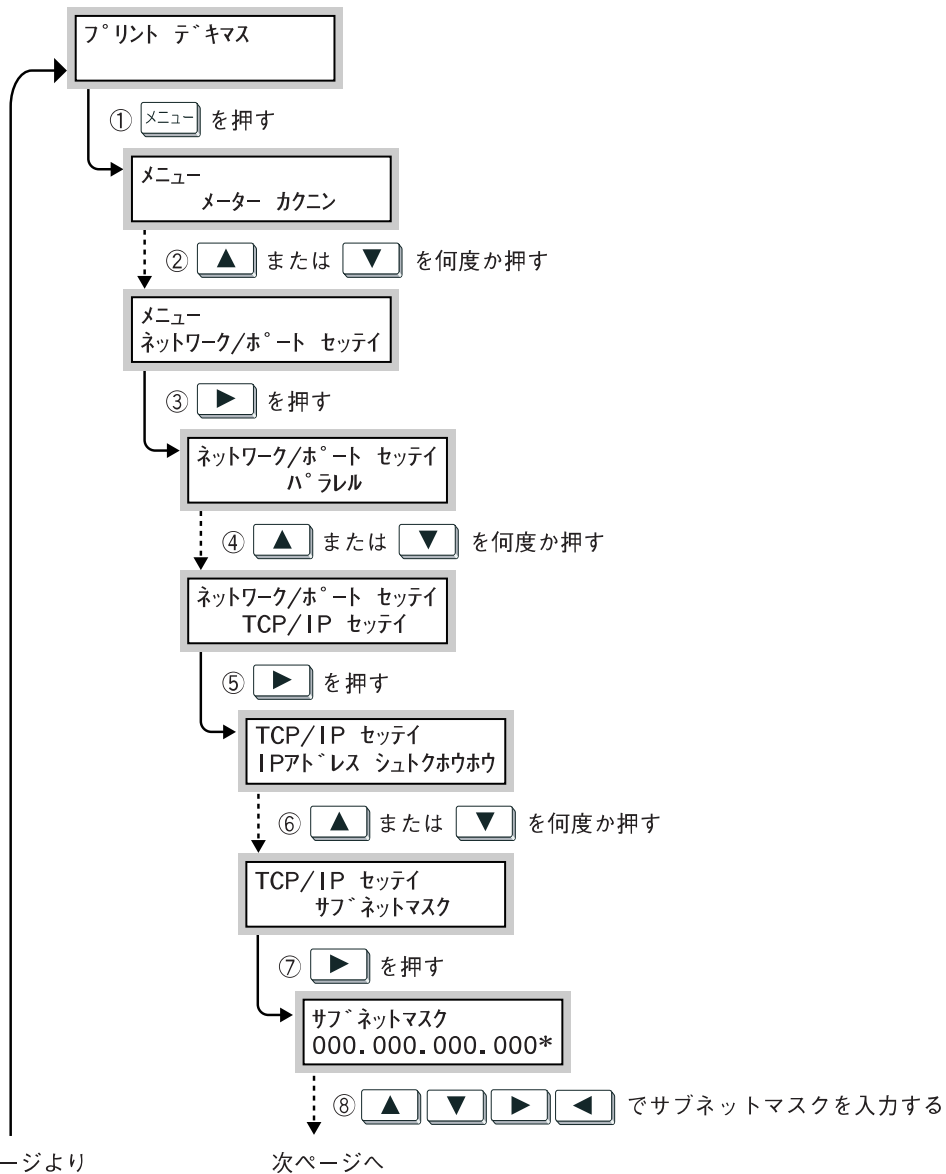
### ●●● IPアドレスの設定

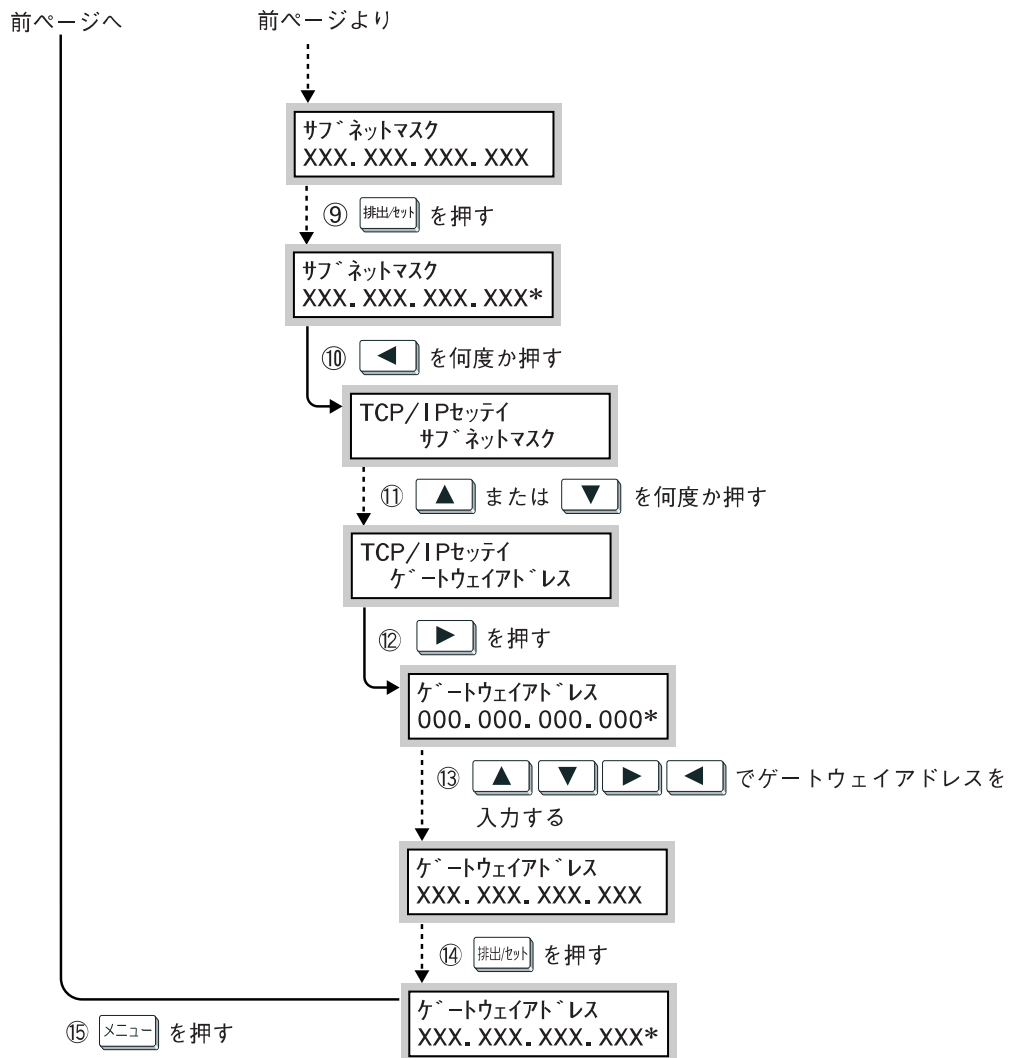


1.4 IPアドレスを設定する



... サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの設定





(電源ONの状態に戻ります。約1分後、データ受信可能です。)

# 1.5 ポートを設定する

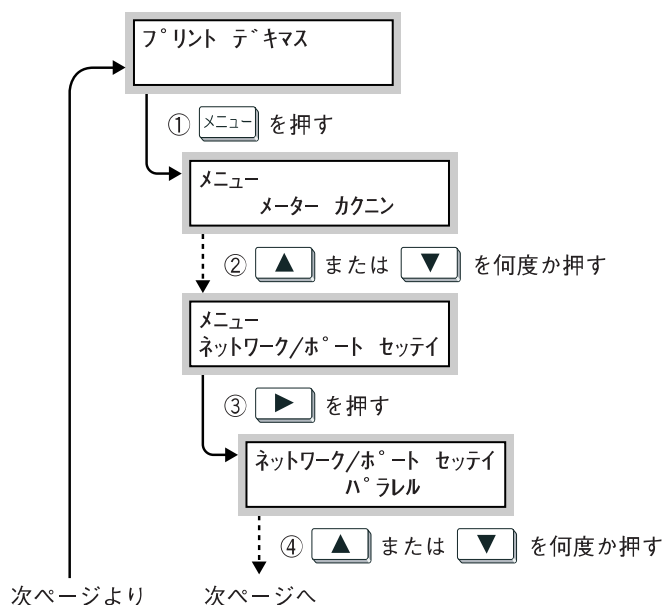
IPアドレスの設定、または設定確認後、使用するポートを起動します。  
ここでは例として、操作パネルを使って、Ipdポートを【キドウ】工場出荷時：起動）CentreWareなどのプリンターをリモートで管理するソフトウェアを使うために必要なSNMPエージェントを【キドウ】工場出荷時：起動）に設定する手順を説明します。  
また、CentreWare Internet Servicesからもポートを設定できます。詳しくは、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Service)」参照してください。

## 参照

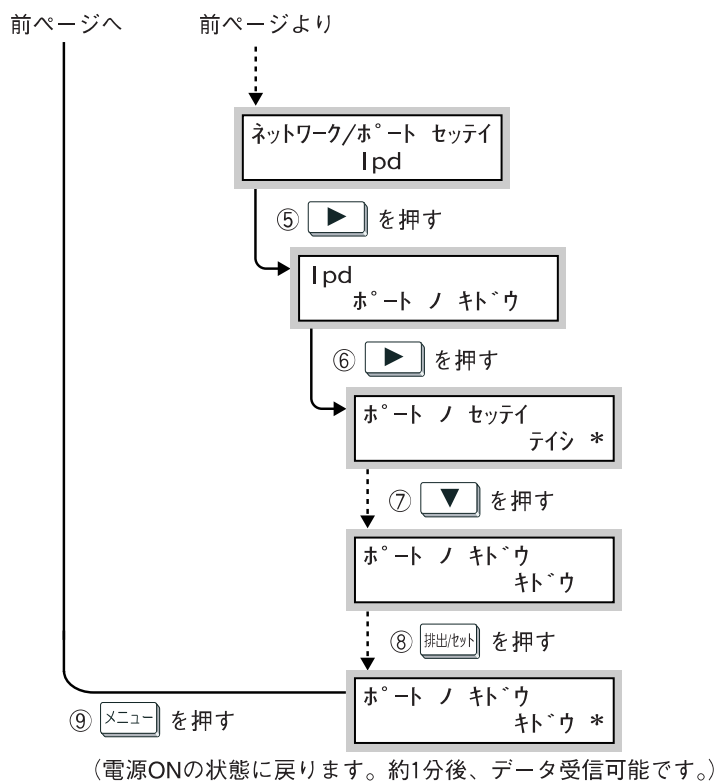
- SMBポートを使用する場合は、「第3章 Windows®(SMB)ネットワーク環境での設定」(P.45)を参照してください。
- NetWare®ポートを使用する場合は、「第5章 NetWare®環境での設定」(P.77)を参照してください。
- EtherTalkポートを使用する場合は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。

## 1.5.1 Ipdポートを起動する

以下の手順に従って、Ipdポートを起動状態にします。

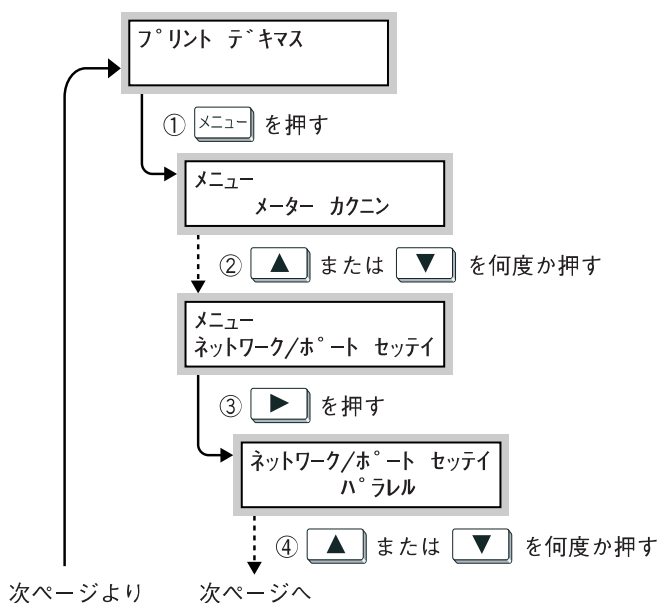




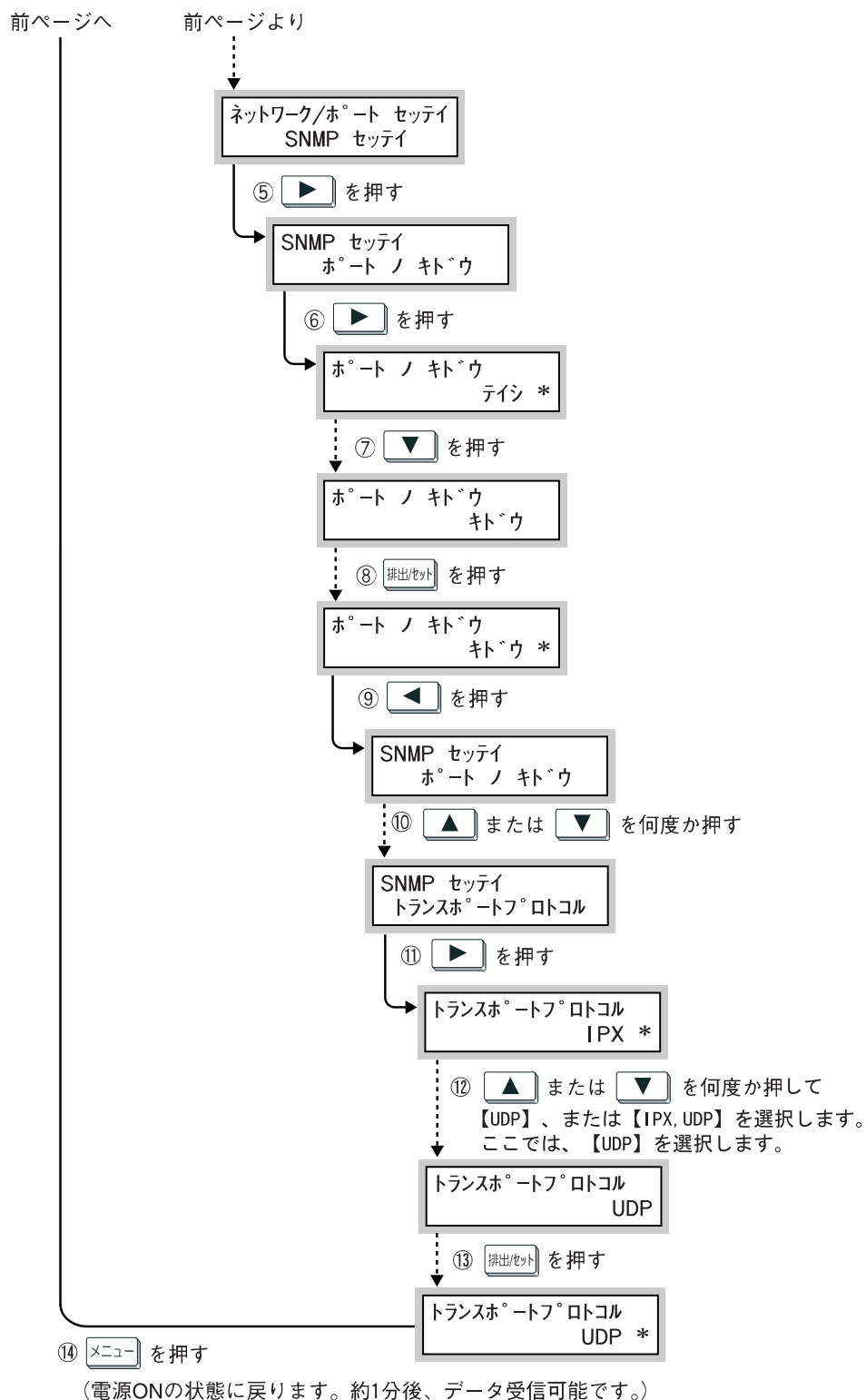


## 1.5.2 SNMPエージェントを起動する

以下の手順に従って、SNMPエージェントと、トランスポートプロトコルの【UDP】、または【IPX,UDP】を起動状態にします。



## 1.5 ポートを設定する



# 1.6 メモリーの割り当てについて

ここでは、メモリーの割り当てについて説明します。

本機では、使い方に応じて、下表の用途にメモリーを割り当てられます。なお、オプションの装着状態によって、割り当てられるメモリーの種類が異なります。

メモリーの種類	標準	ART	PS
プリントページバッファ	○	○	○
ART EXフォームメモリー			
ART フォームメモリー	×		×
ART ユーザ定義メモリー	×	○	×
HPGLオートレイアウトメモリー	×		×
PS使用メモリー	×	×	○
受信バッファ容量	○	○	○

：内蔵増設ハードディスク装置装着時は設定できません。

ART : ART /エミュレーションキット

PS : PostScript®ソフトウェアキット

メモリーの割り当ては、プリントページバッファを除き、操作パネル、または CentreWare Internet Servicesで設定できます。メモリーの割り当ては、電源を入れたとき(または、システムリセット時)に変更されます。

## 参照

- 各メモリーの容量、スプールの初期値などの詳細や操作パネルでの設定については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「8.2 共通メニューの設定を変更する」を参照してください。
- CentreWare Internet Servicesの操作については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

### ●●● プリントページバッファ

実際の印刷イメージを描画する領域です。プリントページバッファには、ほかの用途向けにメモリーを割り当てたあとの、残った領域が割り当てられます。したがって、プリントページバッファの容量を直接変更することはできません。実際に割り当てられたプリントページバッファ容量は、「機能設定リスト」の[メモリー]項目で確認できます。

解像度の高い文書を印刷するときは、プリントページバッファの容量が大きくなるように設定してください。

#### 参照

- 「機能設定リスト」の印刷方法については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「6.3 レポート/リストを印刷する」を参照してください。
- プリントページバッファの容量は、CentreWare Internet Servicesを使っても確認できません。CentreWare Internet Servicesについては、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「5.1 クライアントからプリンターを設定する(CentreWare Internet Services)」を参照してください。

#### 補足

ART EXプリンタードライバーで「印刷保証」を使用する場合、プリントページバッファを下記の容量以上確保する必要があります。印刷保証については、『DocuPrint C2220 取扱説明書』の「4.2 主な印刷機能一覧」を参照してください。

- 内蔵増設ハードディスク装置非装着時 : 73MByte
- 内蔵増設ハードディスク装置装着時 : 113MByte

### ●●● ART EXフォームメモリー

ART EXフォームで使うメモリー容量を指定します。

### ●●● ART フォームメモリー

ART フォームで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

### ●●● ART ユーザ定義メモリー

ART ユーザ定義で使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

### ●●● HPGLオートレイアウトメモリー

HP-GL/2オートレイアウトで使うメモリー容量を指定します。この項目は、オプションのART /エミュレーションキットが装着されている場合に表示されます。

### ●●● PS使用メモリー

PostScript®の使用メモリー容量を指定します。この項目は、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが装着されている場合に表示されます。

### ●●● 受信バッファ容量

クライアントからの受信データを一時的に蓄積するための領域です。複数のポートからのデータを同時に受信するために、ポートごとに受信バッファを用意しています。受信バッファには、次の種類があります。

- パラレル用受信バッファ
- lpd用受信バッファ
- NetWare用受信バッファ
- SMB用受信バッファ
- IPP用受信バッファ
- EtherTalk用受信バッファ

受信バッファ容量を増やすと、印刷処理が速くなることがあります。印刷するデータの量に応じて、バッファ容量を調整してください。また、使用していないポートは、ポート状態を停止にして、ほかの用途向けにメモリーを割り当てることをお勧めします。

lpd/SMB/IPPでは、スプール処理を指定することができます。工場出荷時は【スプールシナイ】に設定されています。スプールには、【メモリースプール】と【ハードディスクスプール】があります。【メモリースプール】を指定した場合、設定した容量を超えるデータは受信できません。この場合は、オプションの内蔵増設ハードディスク装置を装着し、【ハードディスクスプール】を指定してください。

#### 補足

- EtherTalkを設定するには、オプションのPostScript®ソフトウェアキットが必要です。
- IPPは、【メモリースプール】の設定はできません。

スプールには、スプールモードとノンスプールモードがあります。

#### スプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、一時的に本機側のスプールファイルに格納して印刷処理をするモードです。スプールファイルの格納先は、本機内のメモリーを使ったRAMディスク、または本機に接続されたハードディスクから選択できます。印刷データのスプール後の処理はすべて本機側で行われるので、クライアントのアプリケーションが早く解放されます。複数のクライアントからの要求を同時に処理できます。

#### ノンスプールモード

アプリケーションから出力された印刷データを、本機側で受信しながら印刷処理を行うモードです。本機がクライアントからの印刷要求を処理している場合、ほかのクライアントからの印刷要求は受け付けません。

